

平成 29 年 9 月 5 日  
新丸山ダム工事事務所  
設楽ダム工事事務所  
浜松河川国道事務所  
三峰川総合開発工事事務所

## 平成 29 年度における中部地方整備局管内の ダム事業費等監理委員会 開催結果について

ダム建設事業は、調査計画段階から用地補償、生活再建、ダム本体施工を経て管理段階に至るまで、長い期間と多額の事業費を必要とするプロジェクトであり、事業者として、これまでにも増して、より一層のコスト縮減、工期遵守に取り組んでいくことが求められています。

このため、平成 20 年 8 月 5 日に各事業ごとに「ダム事業費等監理委員会」を設置し、毎年、コスト縮減策やその実施状況、事業の進捗状況、工事工程の進捗状況等について、ご意見を頂いております

平成 29 年度についても、委員会を開催し、次のご意見を頂きました。

なお、委員会の説明資料については、各事業のホームページでご覧頂けます。

### <開催結果>

【新丸山ダム事業費等監理委員会】<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>

- 地質調査など丸山ダム建設時の情報を整理・活用するとともに、転流工呑口部の地質調査費用は純増になっていることを踏まえ、調査・設計の進捗に応じて事業費の増減を把握しておくこと。
- コスト縮減にあたっては、安全性が損なわれていないか十分に考慮すること。また、付替道路の整備に関して、平成 29 年度に井尻八百津線が供用するのであれば、その後付替国道 418 号を優先的に整備し早期完成することで全体事業費の縮減につながるのではないか。

#### (事務局からの説明)

- ・地質調査は現丸山ダム建設時の資料も踏まえて、概略調査から詳細調査へと順次進めできている。そして、地質状況を詳細に把握した段階でダム本体の実施設計を行うこととしている。地質調査や本体設計等の進捗状況に応じて事業費の増減を把握していきたい。
- ・今後ともコスト縮減にあたっては、安全性に十分配慮していくとともに、付替道路については山岳道路のため片押し施工など現場条件はあるが、重点整備による早期効果発現など全体事業費の縮減に努めていく。

【設楽ダム事業費等監理委員会】<http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

- 平成 28 年度予算実施内容で減額した用地補償費は、どのような優先順位で分配しているのか。
- 減額になった項目についても、減額となった理由等を説明すること。

- 今回実施した横坑調査は、なぜ必要となったのか。
- 平成29年度の測量設計費で、ダム本体関連検討費等では、どのような検討項目を計上しているのか。

(事務局からの説明)

- ・地元から早期供用を望まれている設楽根羽線の工事と、工程上クリティカルとなっているダム本体の施工に向けた工事用道路等へ優先的に割り当てている。
- ・減額となった理由についても、丁寧に説明するとともに、分かり易い資料作成を行う。
- ・ダム本体の設計を行うにあたり、面的に地質状況を確認する必要があったため、識者からの助言を得た上で実施している。
- ・ダム本体設計のための地質解析、実施設計及び仮設備の設計や地すべり調査等を計上している。

【天竜川ダム再編事業費等監理委員会】<http://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>

- 恒久堆砂対策の費用負担のアロケーションはどうなっているのか。
- 置土実験の工事において、H28年度の土砂運搬が通行止めにより迂回路を通行したのであれば、H29年度は当初より、迂回路を通行する費用を見込む必要があるのでないか。
- 検討中の管理所の候補地は、具体的にどこを検討しているのか。
- 覆砂調査について、H28年度は見送ったとのことだが、今後の予定はどうなっているのか。
- 恒久堆砂対策工法検討委員会の今後の予定や見通しがどうか。
- 今年度は技術開発に関する検討が見込まれているのか。

(事務局からの説明)

- ・天竜川ダム再編事業の費用負担のアロケーションについては協議中であり、早期の締結を目指している。
- ・置土実験工事の土砂運搬は、昨年度に引き続き迂回路を通行する必要があるため、発注当初より迂回路にかかる経費を見込んでおり、今年度の予算を計上している
- ・佐久間ダム左岸側が管理所の用地として適していると判断しており、管理所の詳細な構造等を検討したうえで、関係機関と調整を行っている。
- ・覆砂調査について、今年度は、置土実験によって流下した土砂が、どこで堆積するのかを調査する。堆積しやすい箇所を対象に今後は調査を行っていきたい。
- ・今年度の恒久堆砂対策工法検討委員会で、恒久堆砂対策施設の概略設計と概算費用の算定まで行いたい。
- ・今年度の技術開発に関する検討は、恒久堆砂対策工法検討委員会において審議する予定である。

【三峰川総合開発ダム事業費等監理委員会】<http://www.cbr.mlit.go.jp/mibuso/>

- 事業期間延伸について、試験運用は当初想定していなかったのか。
- コスト縮減の購入土から採取土への変更は、当初から想定できたのではないか。
- 湖内堆砂対策施設の効果を整理して、他のダムに活用する考えはあるのか。

(事務局からの説明)

- ・試験運用については、同じように土砂を流下させる土砂バイパス施設の試験運用により下流河川の影響等について確認がされていたこと、また、大規模洪水を念頭に検討していたことから当初は不要と考えていたが、運用方法を検討する委員会において、特に中小洪水での高濃度の濁水が流下する想定に対して複数の洪水で下流河

川の濃度と環境の関係を確認する必要があるとの助言を受け、下流河川の環境負荷に配慮した運用方法を確立する必要があると判断したものである。

- ・コスト縮減内容の採取土である貯砂ダム堆積土は、通常は粗い礫等で盛り土材料に適さないものであるが、近年大規模な出水が無く、施工段階で確認したところ、盛り土材料として適した土砂が堆積していたことから変更したものである。
- ・湖内堆砂対策施設は国内初の施設であることから、流入土砂の特性など条件にもよるが他ダムで活用できるように効果等を整理して情報提供していく。

<問合せ先>

国土交通省中部地方整備局新丸山ダム工事事務所

副所長 永田 基

TEL 0574-43-2780

国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所

副所長 武田 真吾

TEL 0536-23-4331

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所

副所長 堀江 幸生

TEL 053-466-0111

国土交通省中部地方整備局三峰川総合開発工事事務所

副所長 尾畠 伸之

TEL 0265-98-2921

## 新丸山ダム事業費等監理委員会 運営要領

### 第1条（総 則）

本要領は、「中部地方整備局ダム事業費等監理委員会設置要領（平成20年3月31日付国部整河計第92号）」第6条の規定に基づき、新丸山ダム事業費等監理委員会（以下「委員会」という。）の運営に関する必要な事項を定めるものである。

### 第2条（組 織）

1. 委員会は、別紙の委員をもって構成する。
2. 委員長は委員の互選によって選出し、委員会を総括するものとする。
3. 必要に応じ、委員長の指名する委員を追加することができる。

### 第3条（所掌事項）

委員長は、事務所長からの要請を請けて委員会を招集するものとする。委員会は、原則として以下の事項について、確認を行うとともに意見を述べるものとする。なお、これ以外の事項について、事務所長から要請のあった場合には、確認を行うとともに意見を述べるものとする。

- 1) 事業の進捗状況
- 2) 当該年度の予算と事業内容
- 3) 当該年度の目標とスケジュール
- 4) コスト縮減策の具体的な内容

### 第4条（委員の任期）

委員の任期は、原則として委嘱のあった日から5年間とする。なお、5年以内に当該事業が完成した場合は、管理に移行する日までとする。

### 第5条（事務局）

委員会の事務局は、新丸山ダム工事事務所工務課に置くものとする。

### 第6条（委員長への委任）

この要領に定めるもののほか必要な事項は、委員長が委員会に諮って定めるものとする。

### 附 則

この運営要領は、平成20年8月5日から適用する。

平成23年11月1日 一部改定  
平成25年8月28日 一部改定  
平成26年8月26日 一部改定  
平成27年8月27日 一部改定  
平成28年8月18日 一部改定  
平成29年8月 7日 一部改定

別紙

新丸山ダム事業費等監理委員会・名簿  
委 員

区分	専門分野	氏 名	所 属
学識経験者	環境経済システム	おがわ よしき 小川 芳樹	東洋大学経済学部総合政策学科／教授
	公認会計士	たかぎ まさき 高木 正樹	公認会計士高木正樹事務所
	マスコミ	いのうえ じゅん 井上 純	中日新聞社／論説委員
	交通工学	まつもと ゆきまさ 松本 幸正	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科／教授
	ダム維持管理	まつお なおき 松尾 直規	中部大学工学部都市建設工学科／教授
	コンクリート工学	うちだ ゆういち 内田 裕市	岐阜大学工学部社会基盤工学科／教授
関係機関		いのうえ きよたか 井上 清敬	岐阜県県土整備部河川課長
		ながた まさと 永田 真人	愛知県建設部河川課長
		せき やすひろ 関 泰弘	三重県県土整備部防災砂防課長
		かとう まさひろ 加藤 雅広	関西電力（株）水力事業本部 丸山・笠置発電所改良工事所長

(順不同、敬称略)

事務局等

区分	氏 名	所 属
中部地方整備局	くりき のぶゆき 栗木 信之	河川部河川保全管理官
	かわせ ひろふみ 川瀬 宏文	新丸山ダム工事事務所長
	しもむら たかし 下村 卓	丸山ダム管理所長

# 新丸山ダム建設事業について

平成29年 8月 7日  
国土交通省 中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所

# 目次

1. 事業の概要		3. 平成29年度予算	
1)流域の概要	1	1)実施内容	13
2)事業の目的及び計画内容	2	2)事業実施箇所	14
3)事業の経緯	3	3)個別説明	15
4)全体工程	4		
5)事業の進捗状況	5	(1)管理庁舎工事	15
2. 平成28年度予算		(2)転流工工事	16
1)実施内容	6	(3)堤体設計等	17
2)事業実施箇所	7	(4)特殊補償	18
3)個別説明	8	(5)付替県道井尻八百津線工事	19
		(6)付替国道418号工事	20
(1)受変電室棟工事	8	4. 新丸山ダムにおける取組み	21
(2)転流工進入路工事	9		
(3)堤体設計等	10		
(4)付替県道井尻八百津線工事	11		
4)コスト縮減	12		

# 1. 事業の概要

## 1) 流域の概要

木曽川は幹川流路延長229km、流域面積5,275km<sup>2</sup>の我が国有数の大河川です。

流域市町村には、約235万人（20市13町4村）の人々が生活しており、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。



位置図



丸山ダム(昭和31年3月完成)

木曽川の流域概要

流域面積	5,275 km <sup>2</sup>
幹川流路延長	約 229 km
流域市町村数 <sup>※1</sup>	20 市 13 町 4 村
流域市町村人口 <sup>※1,2</sup>	約 235 万人

※1流域市町村

(長野県) 上松町、南木曾町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村

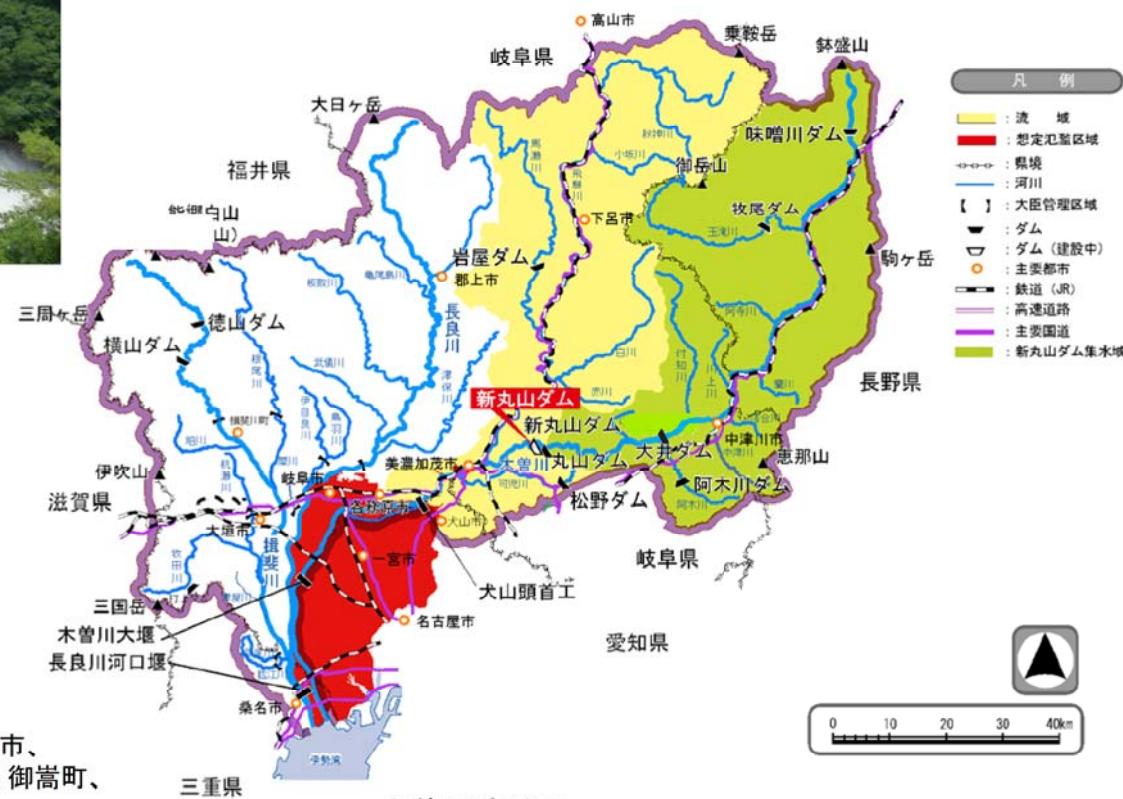
(岐阜県) 高山市、中津川市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、可児市、郡上市、下呂市、坂祝町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、

関市、各務原市、岐阜市、岐南町、羽島市、海津市、笠松町

(愛知県) 犬山市、江南市、扶桑町、一宮市、稻沢市、愛西市、弥富市

(三重県) 桑名市、木曽岬町

※2出典:平成27年国勢調査(総務省)



木曽川流域図

## 2)事業の目的及び計画内容①

### (1)事業の目的

■丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を増強して、木曽川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守ると共に流水の正常な機能の維持及び発電を行う。

### (2)計画内容

○実施箇所(木曽川水系木曽川):(左岸)岐阜県可児郡御嵩町 (右岸)岐阜県加茂郡八百津町

#### ○計画内容

##### <洪水調節>

戦後最大の昭和58年9月洪水と同規模の洪水に対して、基準地点犬山において約3,200m<sup>3</sup>/sの流量を低減させる。

##### <流水の正常な機能の維持>

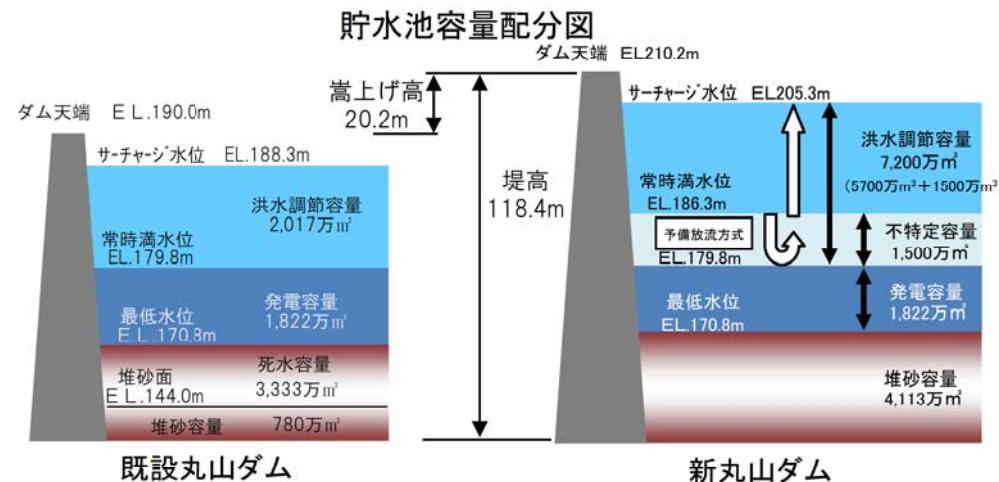
1,500万m<sup>3</sup>の容量を用いて既得用水の取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水を確保する。

##### <発電>

既設の丸山発電所及び新丸山発電所において発電を行う。

### 新丸山ダム完成前後のダムの諸元

	丸山ダム	新丸山ダム	差分
形式	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	—
堤高	98.2 m	118.4 m	20.2 m
堤頂長	260.0m	378.0m	118.0m
流域面積	2,409 km <sup>2</sup>	2,409 km <sup>2</sup>	—
湛水面積	2.63 km <sup>2</sup>	3.68 km <sup>2</sup>	1.05 km <sup>2</sup>
総貯水容量	7,952 万m <sup>3</sup>	13,135 万m <sup>3</sup>	5,183 万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	3,839万m <sup>3</sup>	9,022万m <sup>3</sup>	5,183万m <sup>3</sup>



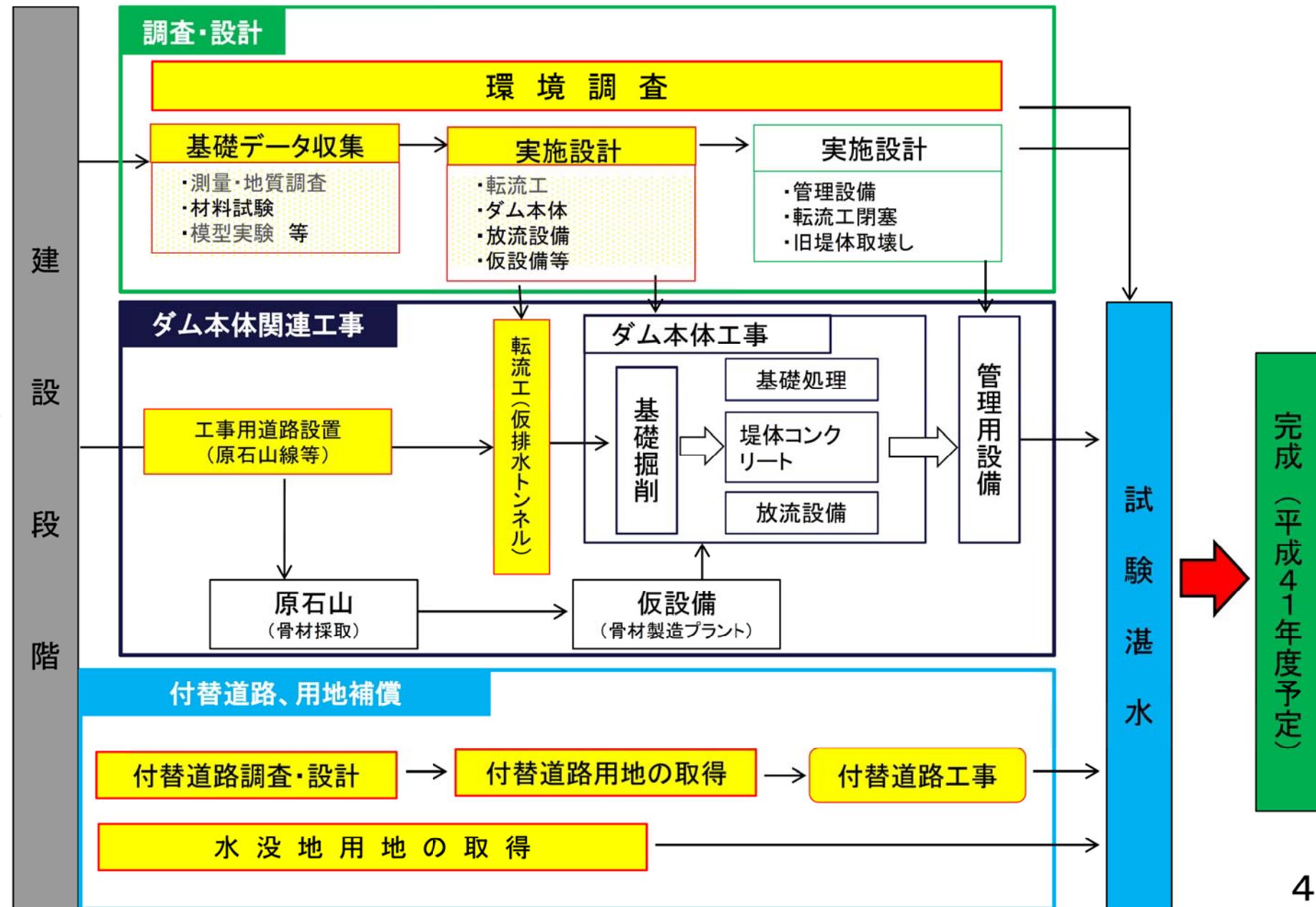
※不特定容量…既得用水の取水の安定化及び河川環境の保全等のための容量

### 3)事業の経緯

年 月	事業の経緯
昭和31年 3月	丸山ダム完成
昭和55年 4月	事業実施計画調査に着手
昭和61年 4月	建設事業に着手
平成 2年 3月	水源地域対策特別措置法に基づくダムに指定
平成 2年 5月	特定多目的ダム法に基づく「新丸山ダム基本計画」を告示
平成 4年 3月	損失補償基準の妥結調印
平成 4年 8月	水没用地買収着手
平成 6年 1月	水源地域対策特別措置法の水源地域指定、整備計画の決定
平成 8年 3月	付替国道418号(八百津～潮南区間)工事着手
平成14年 3月	水没等家屋移転補償契約(全49戸)完了
平成17年 6月	新丸山ダム基本計画変更(第1回)を告示
平成19年11月	木曽川水系河川整備基本方針を策定
平成20年 3月	木曽川水系河川整備計画を策定
平成21年12月	検証の対象とするダム事業に選定
平成22年 3月	付替国道418号(八百津～潮南区間)の供用開始
平成25年 7月	国土交通大臣が「継続」とする対応方針決定
平成25年11月	付替県道井尻八百津線工事着手
平成27年 1月	木曽川水系河川整備計画を変更
平成27年 2月	付替国道418号(潮南～飯地区間)の工事に着手
平成27年 7月	新丸山ダム基本計画変更(第2回)を告示
平成28年 9月	転流工 工事着手

## 4) 全体工程

: 現在実施中箇所

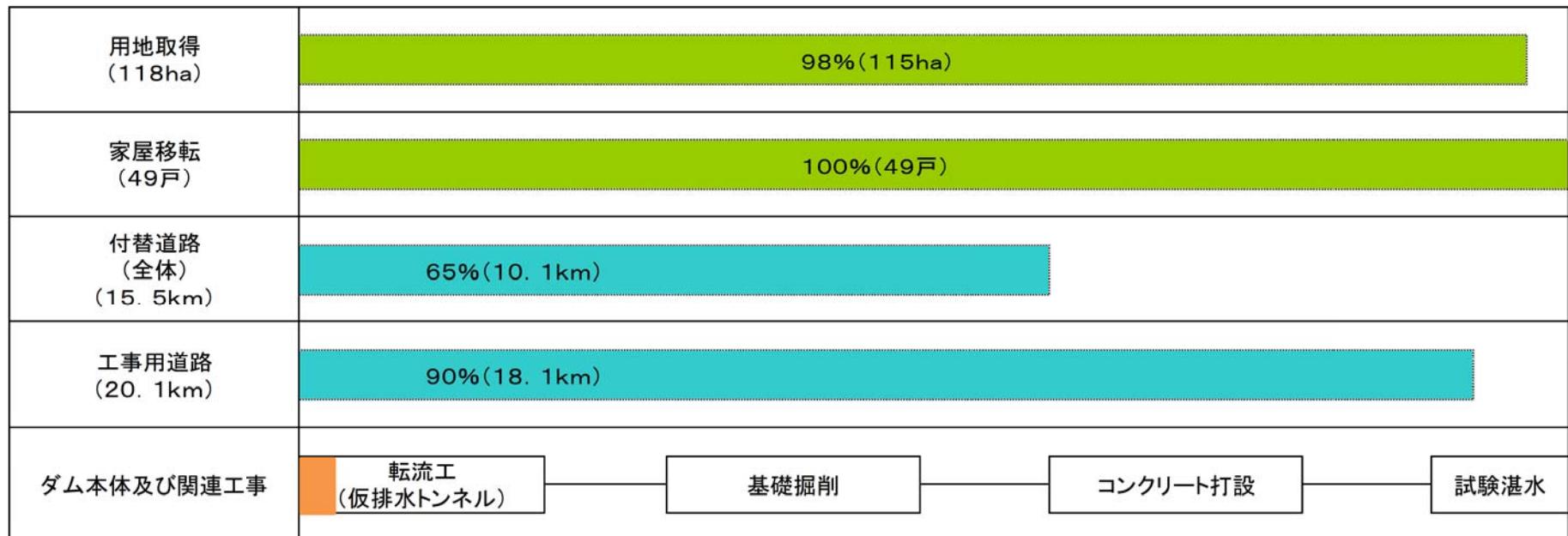


## 5)事業の進捗状況

### ○予算執行状況

- ・H28年度 当初34.4億円
- ・H29年度 当初51.2億円
- ・H28年度迄 約745億円（進捗率約37%）

(平成29年3月末時点)



## 2. 平成28年度予算

### 1) 実施内容

#### ○平成28年度予算額

・当初: 31. 35億円 ※工事諸費等除く

(百万円)

当初

#### 工事費(530. 1)

- ①管理所
  - ・受変電室棟(約60. 0)
- ②転流工
  - ・転流工進入路(約150. 0)
  - ・転流工(約270. 0)
- ③施設維持等
  - ・維持作業等(約30. 1)
  - ・工事監督支援(約20. 0)

#### 測量設計費(442. 8)

- ①継続調査
  - ・水理水文調査(約2. 0)
  - ・環境調査(約15. 0)
- ②本体関連
  - ・堤体設計等(約280. 0)
  - ・電気設備設計(約30. 0)
- ③用地調査等
  - ・用地調査(約30. 0)
- ④その他
  - ・発注者支援等(約64. 8)
  - ・図面作成業務等(約21. 0)

#### 用地費及び補償費(2, 157. 0)

- ①用地補償費
  - ・特殊補償(約1, 320. 0)
- ②付替道路
  - ・付替県道井尻八百津線工事(約797. 0)
  - ・付替国道418号工事(約40. 0)

#### 船舶及び機械器具費(4. 0)

- ①電気通信施設保守点検等
  - ・電気通信施設保守点検等(約4. 0)

#### 事業車両費(0. 9)

- ①車両管理点検等(約0. 9)

変更

#### 工事費(530. 1)

- ①管理所
  - ・受変電室棟(約73. 2)
    - … 受変電室棟の整備に併せて舗装工を追加実施 <増額>
- ②転流工
  - ・転流工進入路(約165. 3)
    - … 現地不一致などによる盛土・擁壁の増工 <増額>
  - ・転流工(約241. 9)
    - … 落札差額による変更 <減額>
- ③移設維持等
  - ・維持作業等(約31. 8)
    - … 数量の精算 <増額>
  - ・工事監督支援(約17. 9)
    - … 落札差額による変更 <減額>

#### 測量設計費(520. 9)

- ①継続調査
  - ・水理水文調査(約2. 0)
  - ・環境調査(約18. 2)
    - … 地下水観測及び水質調査
    - … 猛禽類及び重要植物調査に併せ、重要種の移植実施 <増額>
- ②本体関連
  - ・堤体設計等(約384. 5)
    - … 地質調査追加による変更 <増額>
  - ・電気設備設計(約20. 1)
    - … 設計内容の合理化 <減額>
- ③用地調査等
  - ・用地調査(約28. 3)
    - … 数量の精算 <減額>
- ④その他
  - ・発注者支援等(約49. 6)
    - … 数量の精算 <減額>
  - ・図面作成業務等(約18. 2)
    - … 数量の精算 <減額>

(+78.1)

(-78.4)

(+0.3)

#### 用地費及び補償費(2, 078. 6)

- ①用地補償費
  - ・特殊補償(約1, 197. 2)
    - … 設計項目減少による変更 <減額>
- ②付替道路
  - ・付替県道井尻八百津線工事(約839. 6)
    - … 転落防止柵設置高さ変更 <増額>
  - ・付替国道418号工事(約41. 8)
    - … 数量の精算 <増額>

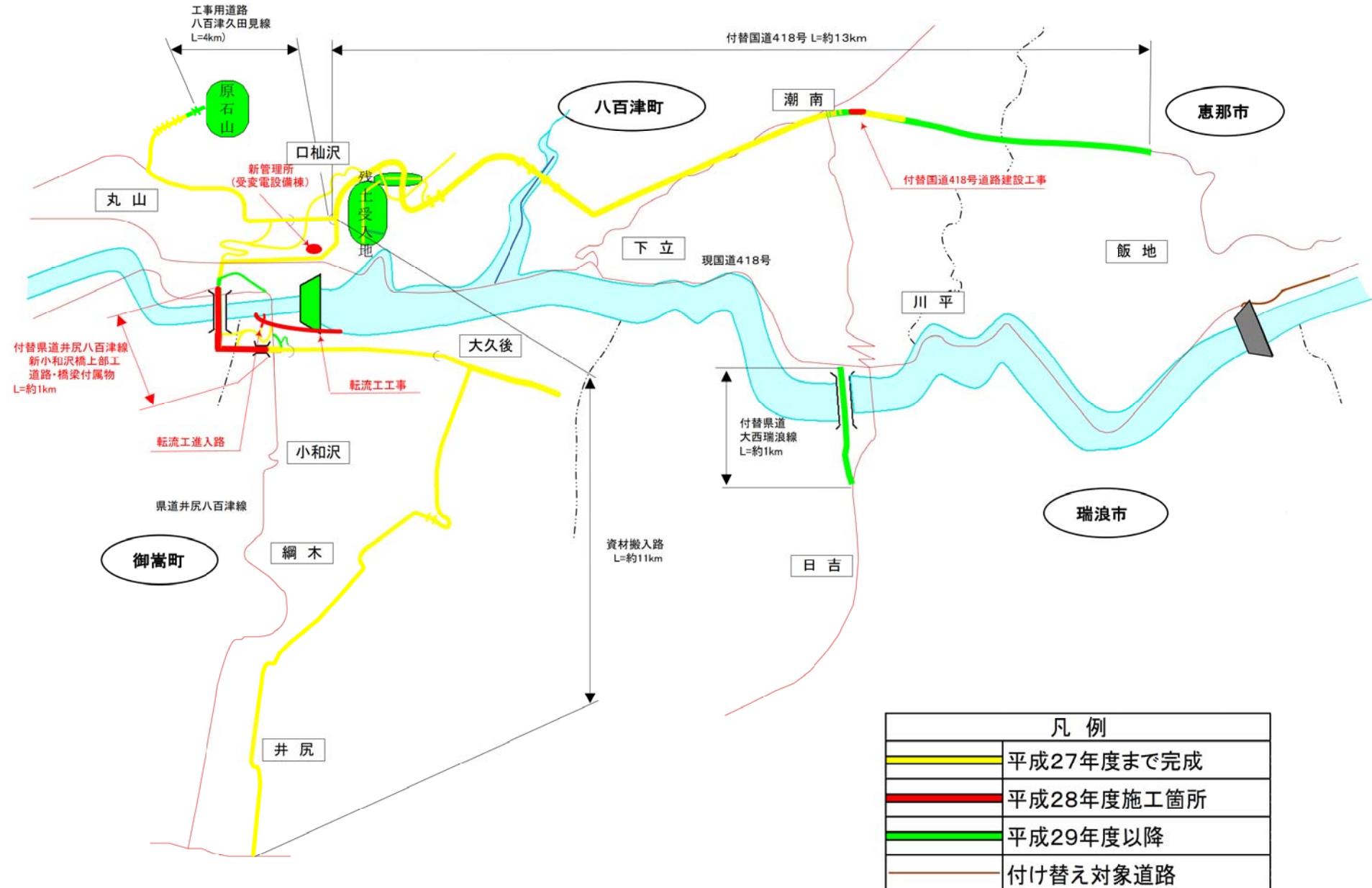
#### 船舶及び機械器具費(4. 0)

- ①電気通信施設保守点検等
  - ・電気通信施設保守点検等(約4. 0)

#### 事業車両費(1. 2)

- ①車両管理点検等(約1. 2)
  - … バス点検時の修繕・消耗品による変更 <増額>

## 2)事業実施箇所

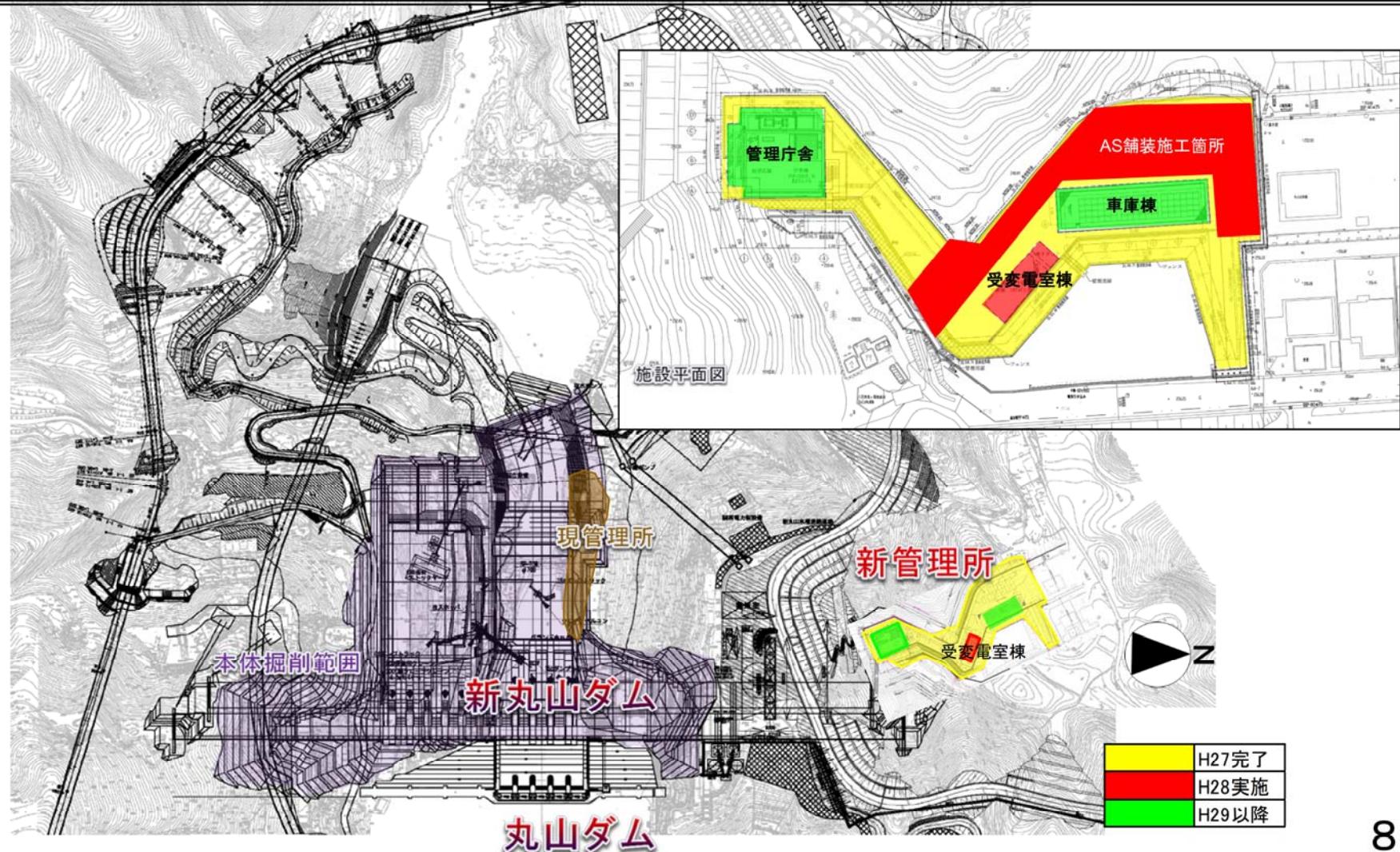


### 3)個別説明

#### (1)受変電室棟工事

(約73.2百万円) 工事費

- 丸山ダム直下流右岸側に位置する現管理所は、本体掘削範囲に含まれるため、移転が必要。
- H27年度に敷地造成に着手し、H28年度は受変電設備等を設置する受変電室棟を建築。
- 工事の粉塵対策のためアスファルト舗装を実施したことによる増額。

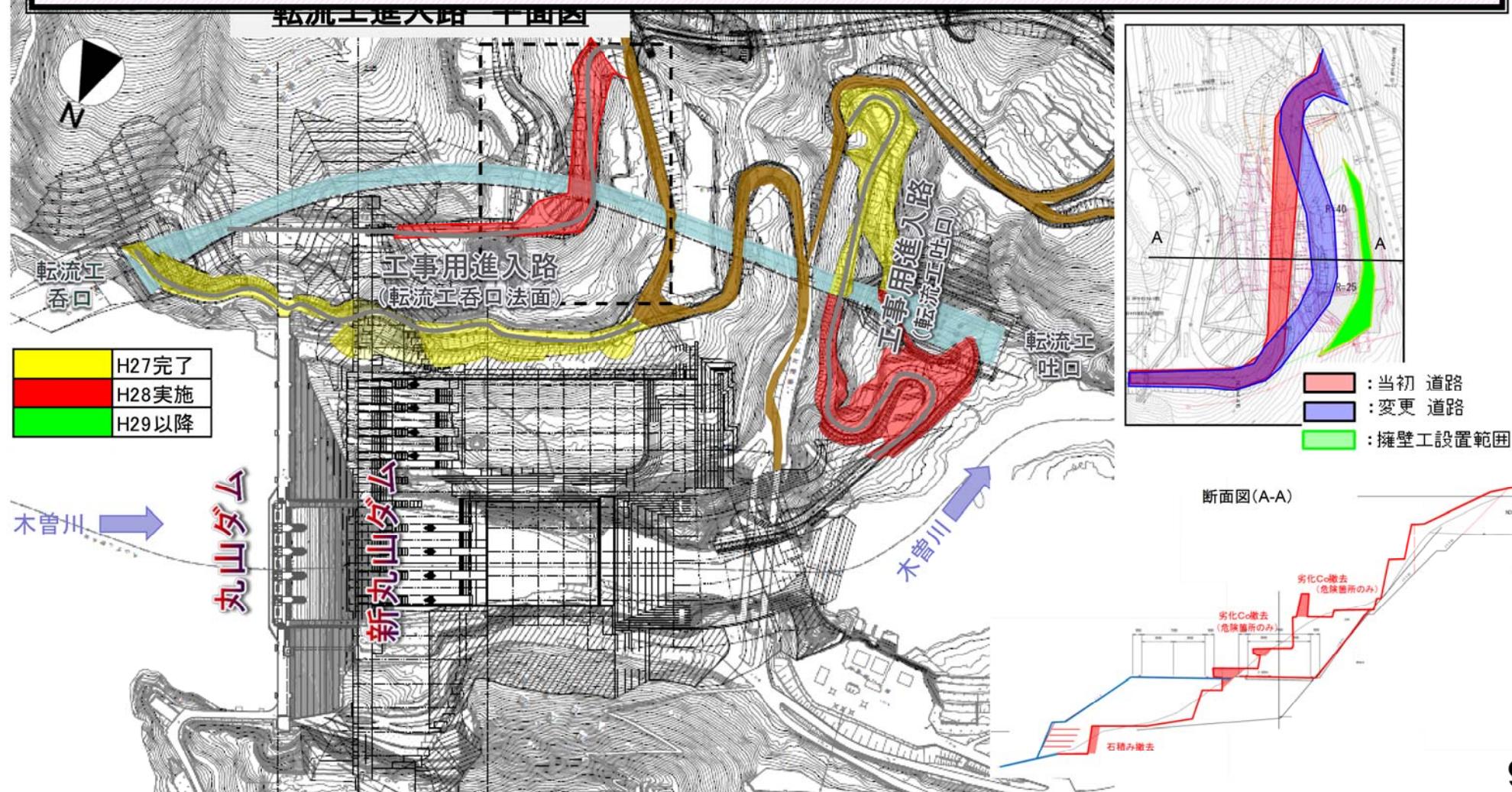


### 3) 個別説明

#### (2) 転流工進入路工事

(約165.3百万円) 工事費

- 転流工の施工に必要な工事用進入路を、H26年度より整備中。
- H28年度は転流工呑口法面部及び吐口部への進入路の整備を実施。
- 転流工呑口法面への進入路沿いに、丸山ダム建設当時の仮設備基礎コンクリートが撤去されておらず埋没していることが確認されたことから、工事用道路の線形変更が必要となり増額。

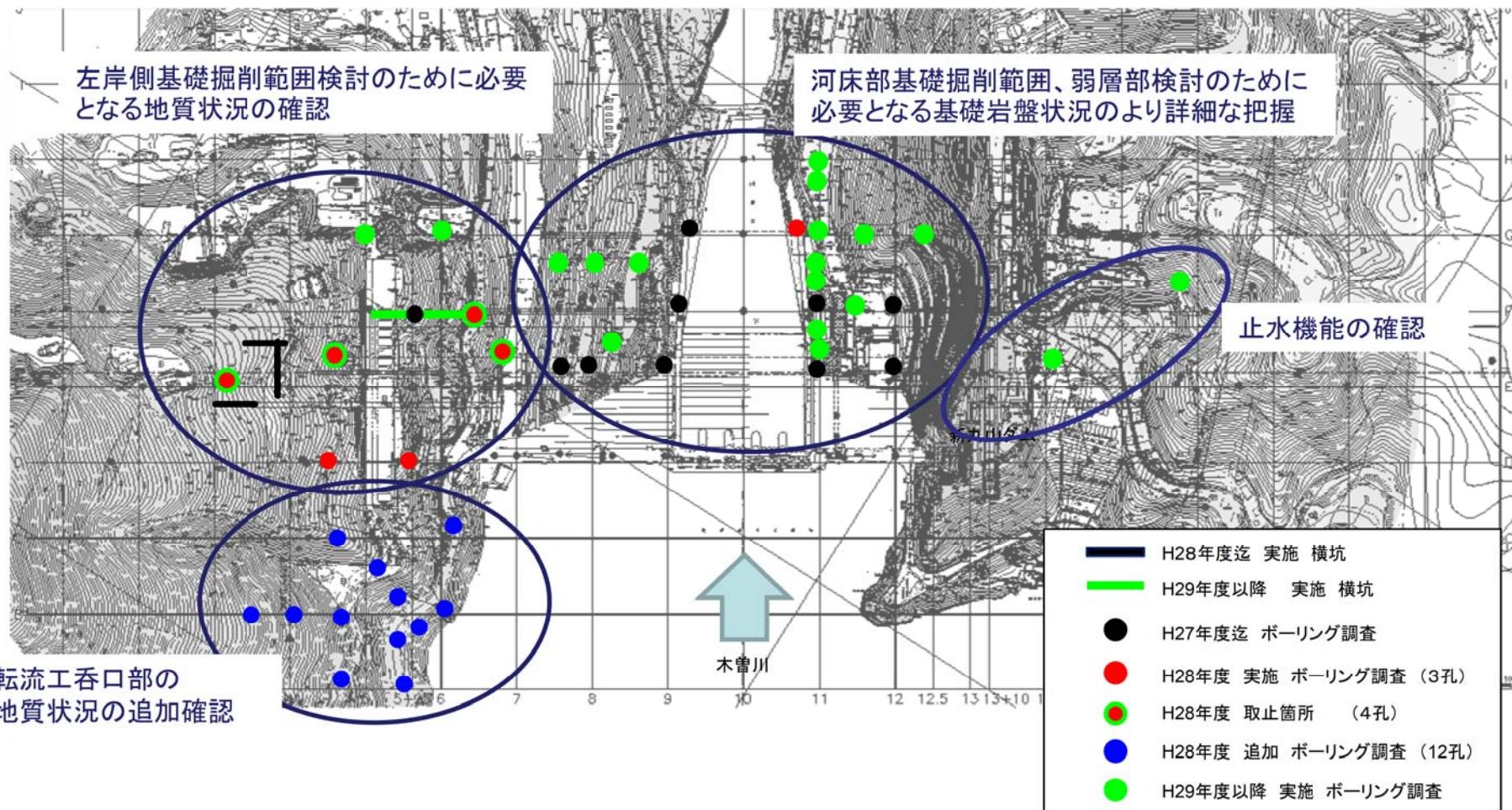


### 3)個別説明

#### (3)堤体設計等

(約384.5百万円) 測量設計費

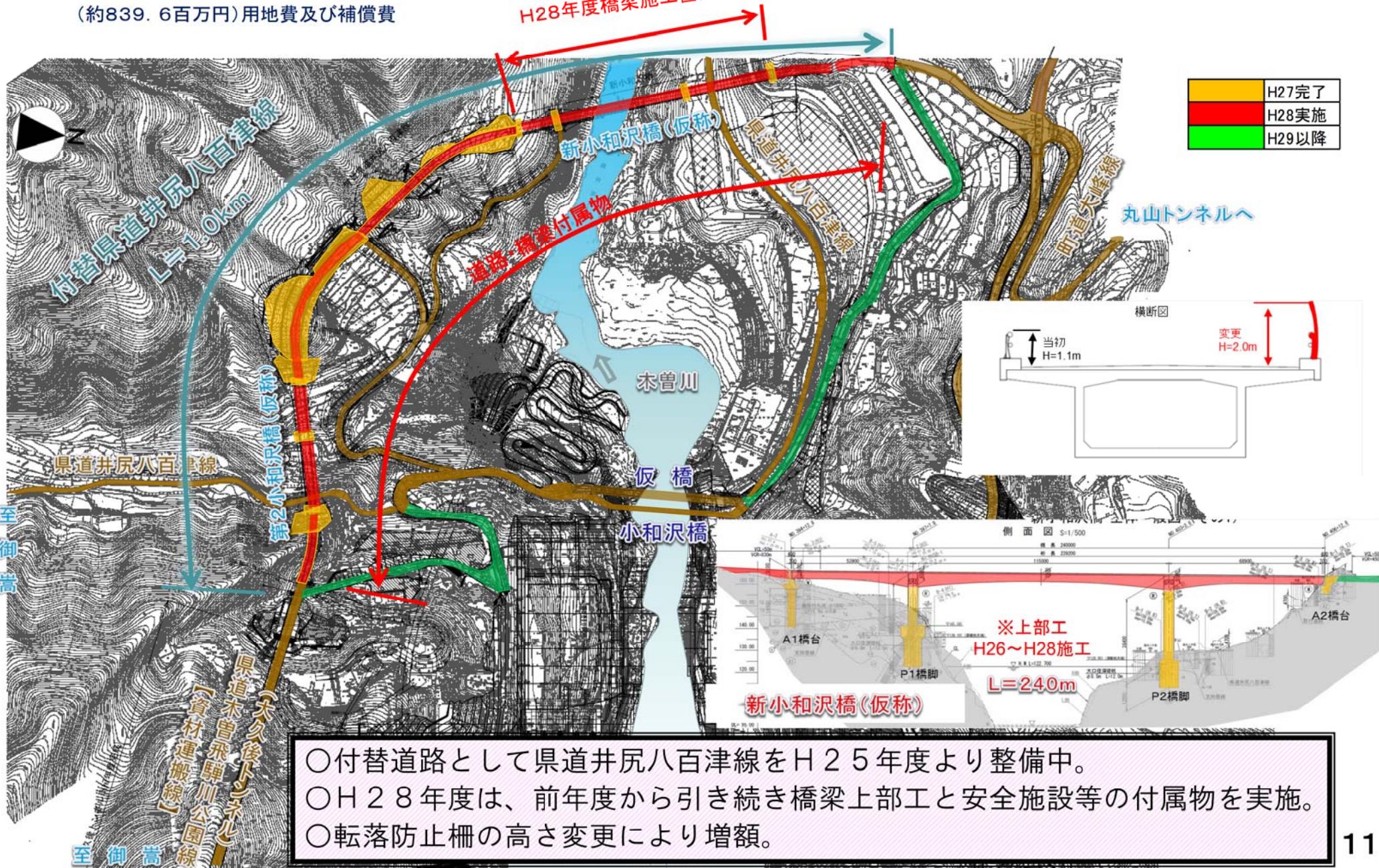
- ダム本体の概略設計及び施工計画検討、地質調査を実施。
- 地質調査は、転流工呑口部の地山状況等から調査を追加したことにより増額。
- 地質調査を反映した転流工の修正設計により増額。



### 3) 個別説明

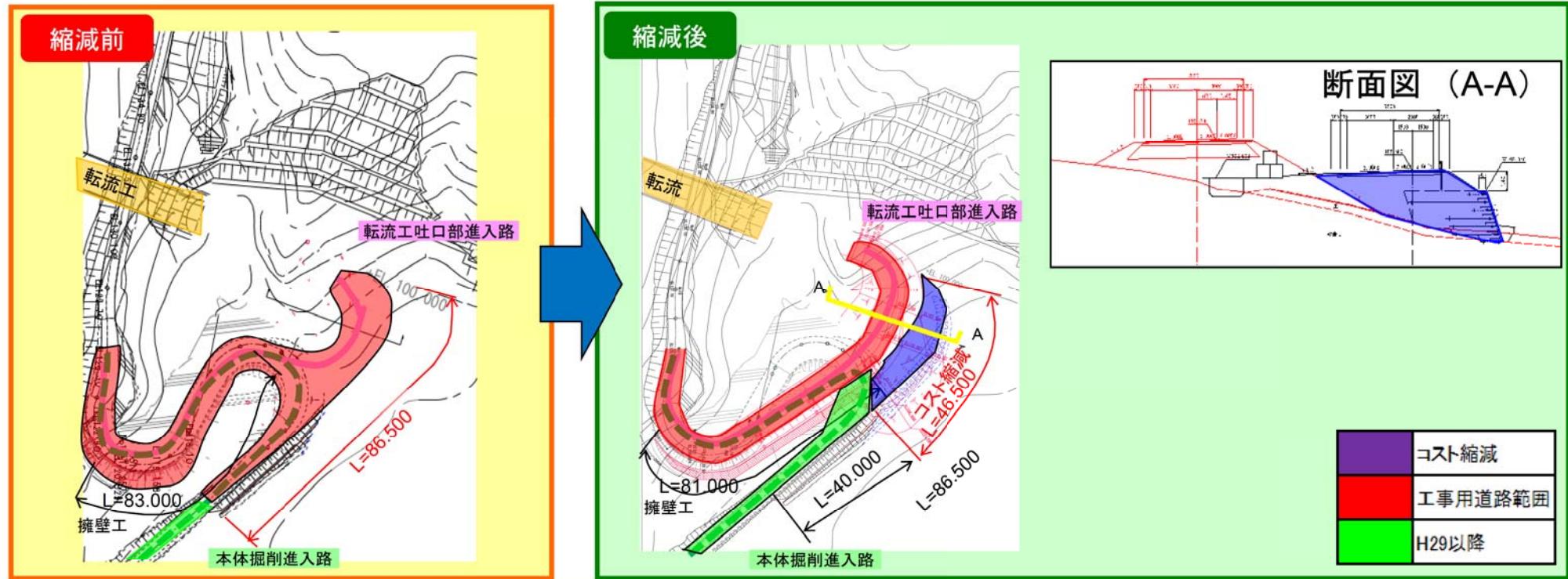
#### (4) 付替県道井尻八百津線工事

(約839.6百万円)用地費及び補償費



## 4)コスト縮減

### 工事施工段階 一 (転流工進入路)



#### ■コスト縮減内容

線形見直しによる擁壁工施工範囲の低減

#### ■コスト縮減の要因

当初: 転流工吐口部への進入路は本体掘削搬入路との兼用部分を一括で施工する設計。

変更: 本体掘削時期は転流開始後となることから、本体掘削進入路の継続施工が可能な構造で、転流工吐口部の施工ヤードを最大限確保できる設計。

#### ■コスト縮減額 【H28年度 約90百万円+H29以降 約35百万円= 縮減前 125百万円】

縮減後 119百万円 【約6百万円の縮減】

盛土量の減	約 3百万円縮減
擁壁工の延長減	約 3百万円縮減

### 3. 平成29年度予算

#### 1) 実施内容

##### ○平成29年度予算額

・当初: 47. 46億円 ※工事諸費等除く

(百万円)

当初

##### 工事費(1, 731. 1)

- ①管理所
    - ・管理庁舎建築(約280. 0)
    - ・電気通信工事(約100. 0)
  - ②転流工
    - ・転流工(約900. 0)
    - ・転流工ゲート(約400. 0)
  - ③施設維持等
    - ・維持作業等(約30. 1)
    - ・工事監督支援(約20. 0)
- … 管理所庁舎の建築  
… 既設管理所との電気通信設備の移設及び改造  
… トンネル部掘削  
… 吞口部の転流ゲート製作  
… 工事用道路等の施設の維持・補修  
… 工事監督の補助

##### 測量設計費(1, 620. 1)

- ①継続調査
    - ・水理水文調査(約2. 0)
    - ・環境調査(約15. 0)
  - ②本体関連
    - ・堤体設計等(約852. 0)
    - ・地すべり関連(約515. 0)
    - ・補償関連調査(約22. 0)
  - ③付替道路
    - ・付替道路設計等(約90. 0)
  - ④その他
    - ・発注者支援等(約98. 1)
    - ・図面作成業務等(約26. 0)
- … 地下水観測及び水質調査  
… 猛禽類モニタリング及び重要植物種調査  
… 施工計画検討、地質調査、本体設計、コンクリート配合試験等  
… 地質調査・地すべり設計  
… 漁業補償調査  
… 付替国道418号の地質調査・詳細設計、付替県道大西瑞浪線の詳細設計  
… 工事及び業務発注のための資料整理  
… 工事及び業務発注のための図面作成

##### 用地費及び 補償費(1, 377. 0)

- ①用地補償費
    - ・特殊補償(約1, 187. 0)
    - ・用地補償(約20. 0)
  - ②付替道路
    - ・付替県道井尻八百津線工事(約50. 0)
    - ・付替国道418号工事(約120. 0)
- … 関西電力丸山発電所の特殊補償等  
… 付替道路に係る用地補償  
… 蓋装・道路付属工事  
… 土工区間の整備

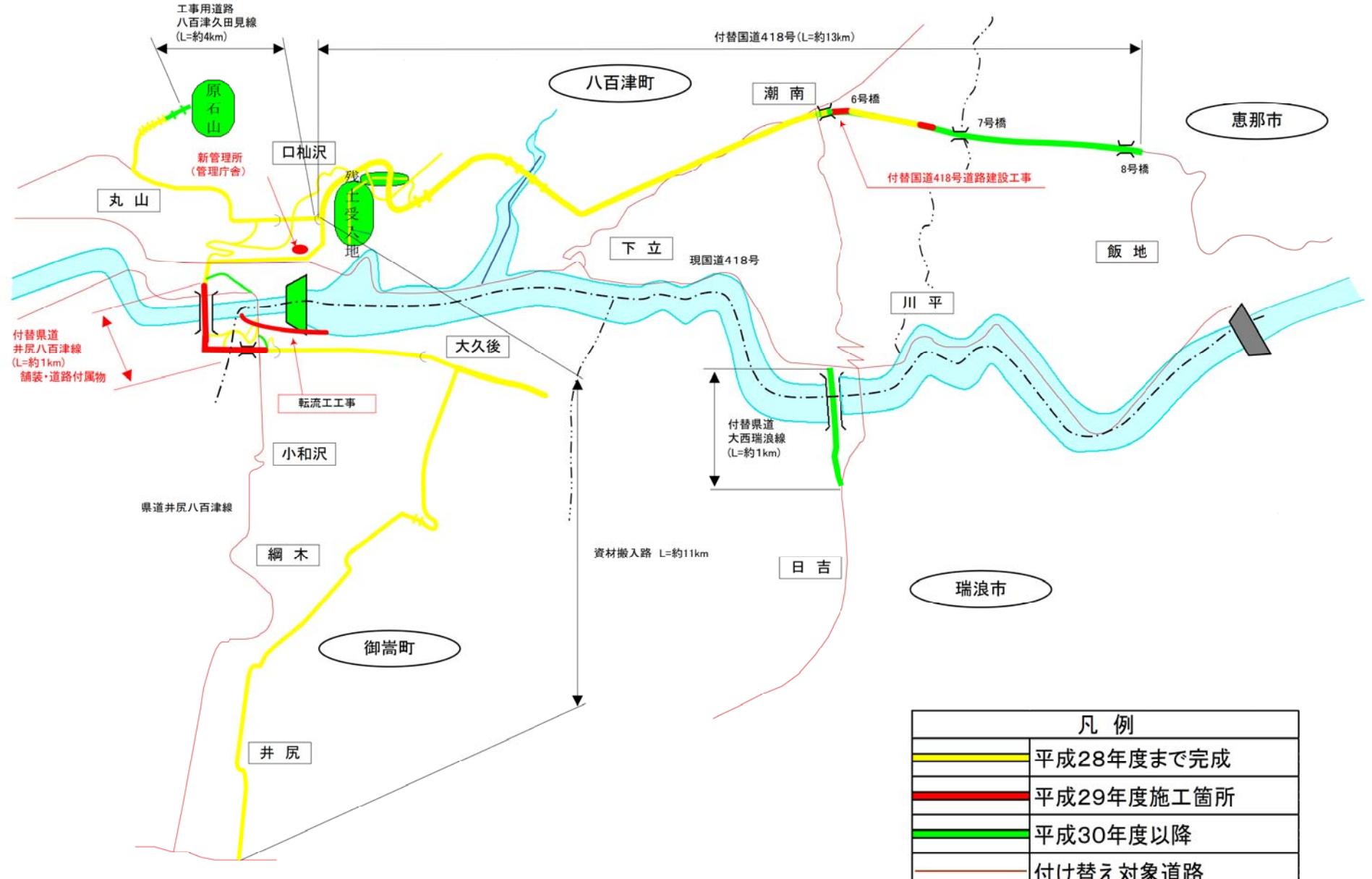
##### 船舶及び機械器具費(16. 7)

- ①電気通信施設保守点検等(約16. 7)

##### 事業車両費(1. 3)

- ①車両管理点検等(約1. 3)

## 2)事業実施箇所



### 3)個別説明

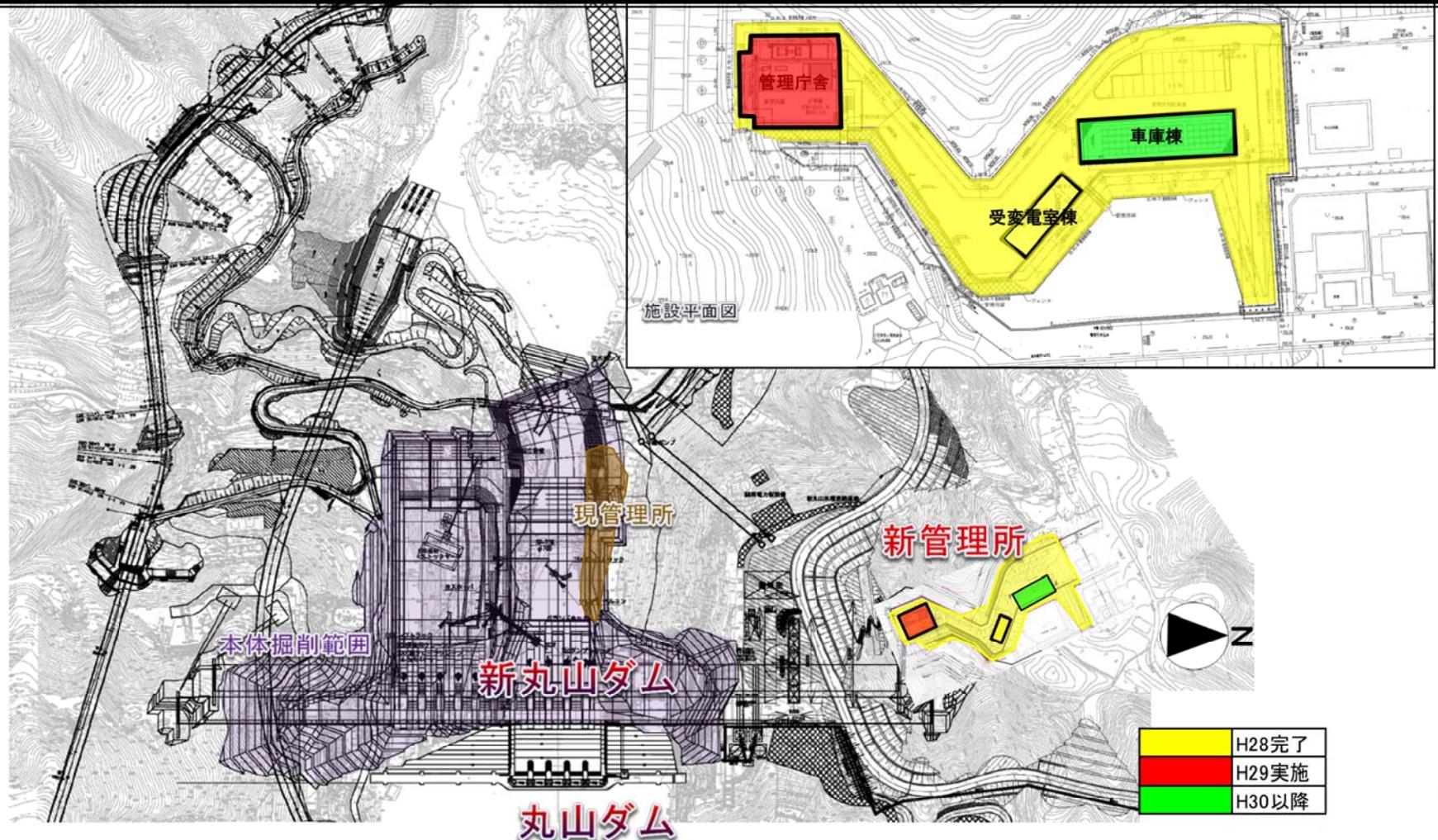
#### (1)管理庁舎工事

(約380百万円) 工事費

○丸山ダム直下流右岸側に位置する現管理所は、本体掘削範囲に含まれるため、移転が必要。

○H27年度より新管理所を整備中。

○H29年度は管理庁舎を建築。H29年度からH30年度までの2年間で、電気通信設備の製作及び現管理所から新管理所への移設・改造を行う。

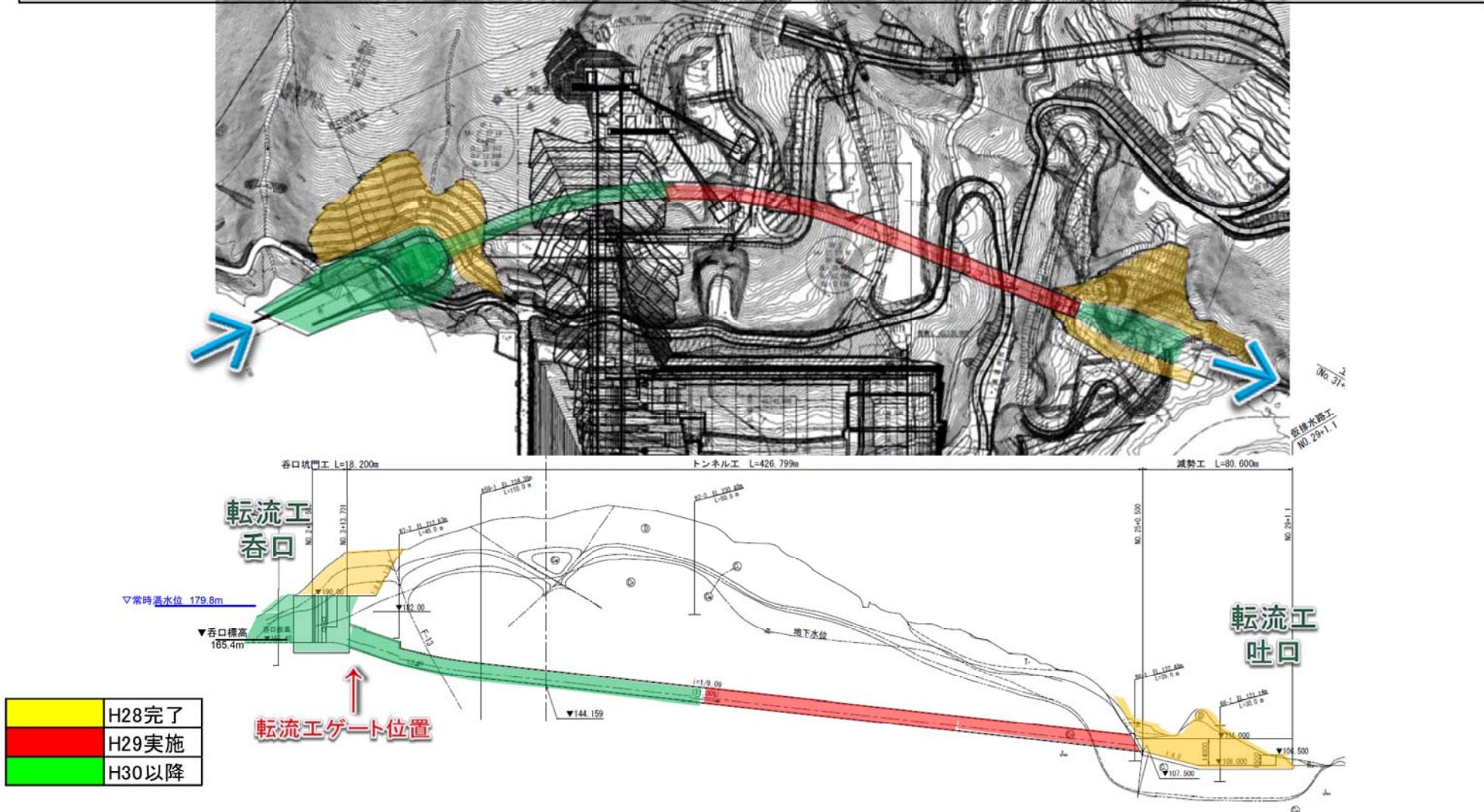


### 3) 個別説明

#### (2) 転流工工事

(約1300百万円) 工事費

- ダム本体施工時に施工現場を浸水させないため流水を迂回させる転流工をH28年度からH30年度までの3年間で整備中。
- H29年度はトンネル部の掘削と呑口部ゲートを製作。

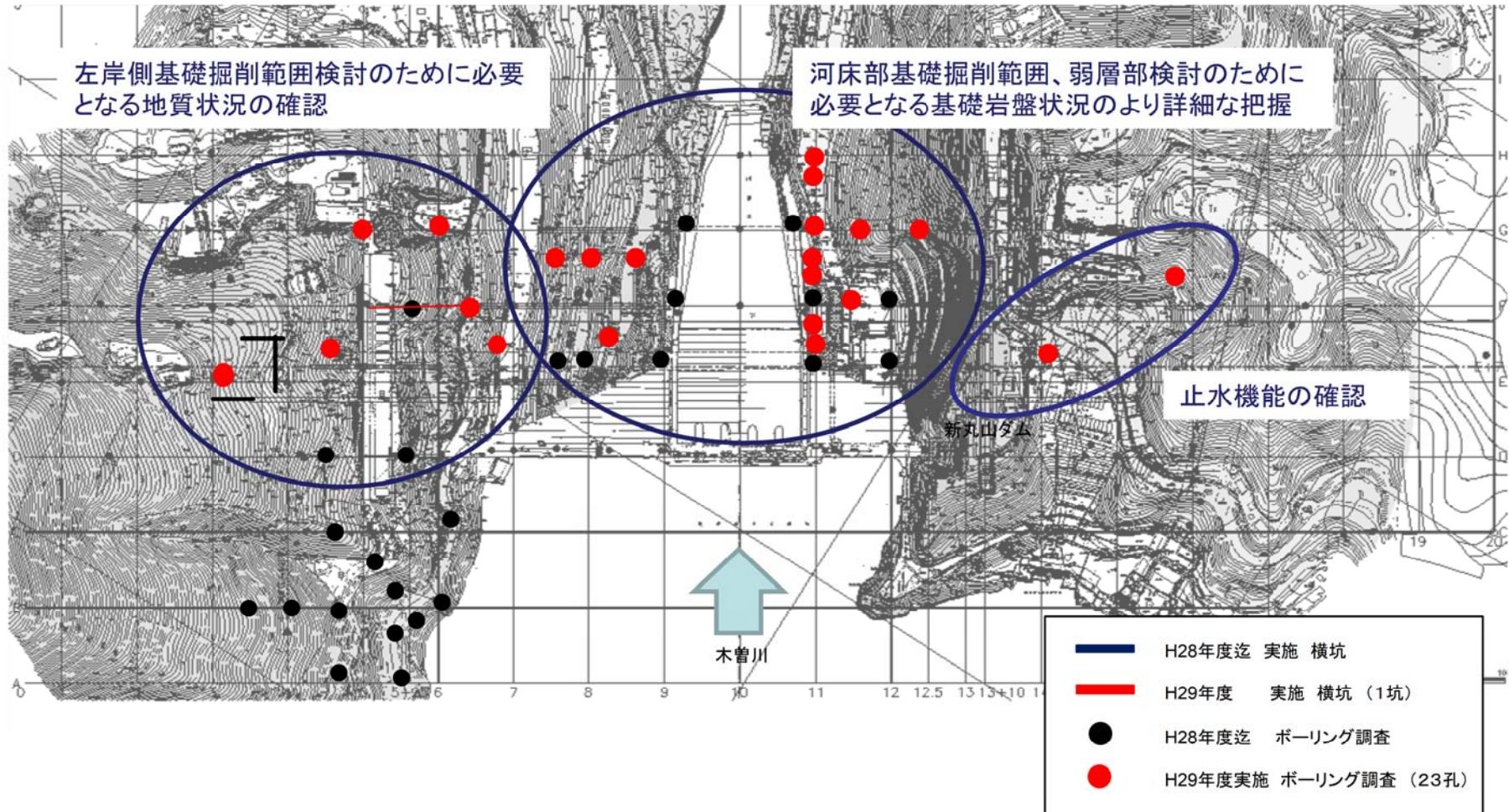


### 3)個別説明

#### (3)堤体設計等

(約852.0百万円) 測量設計費

○ダムサイトの地質を詳細に調査し、結果を踏まえた堤体設計及び施工計画検討を実施。

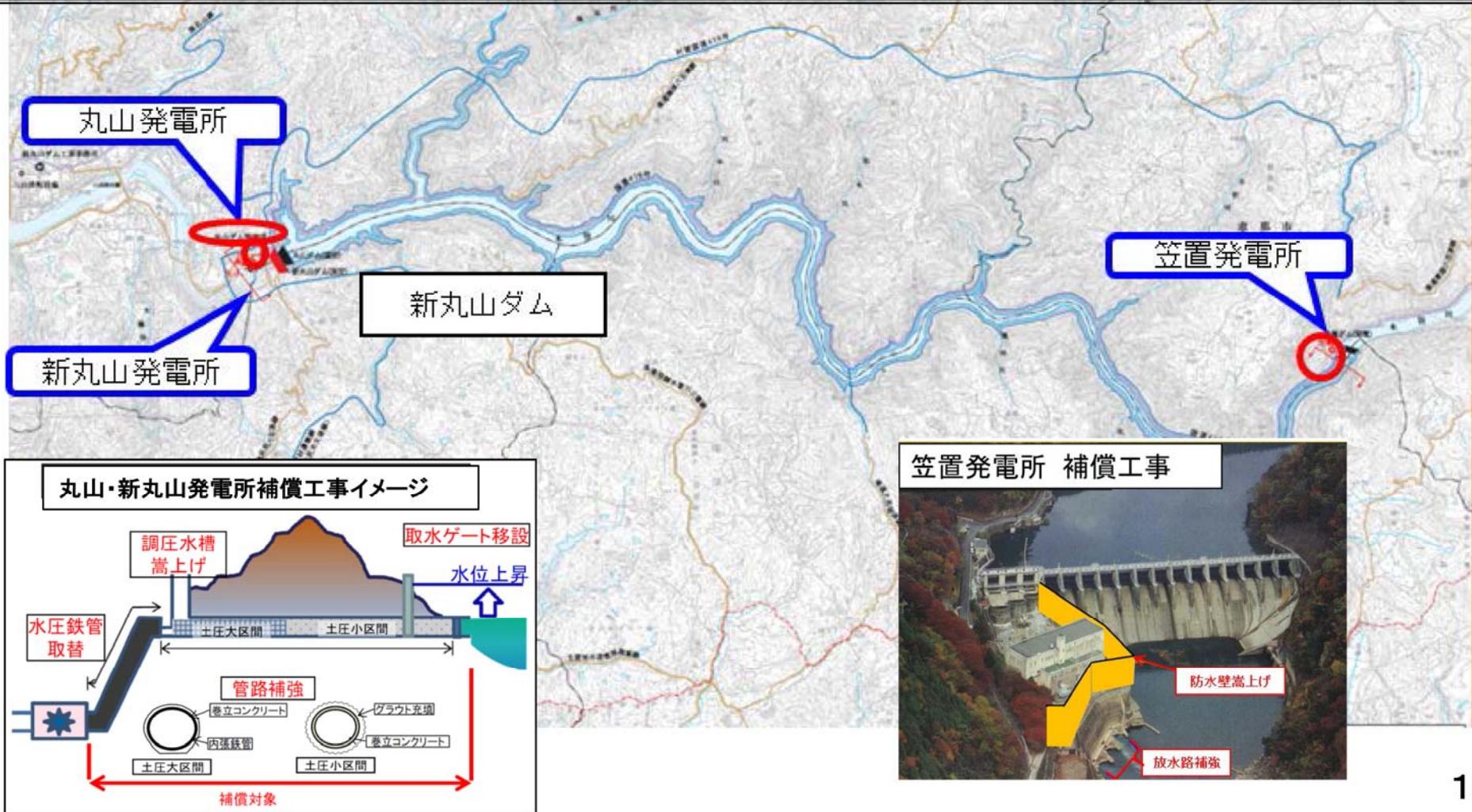


### 3)個別説明

#### (4)特殊補償

(約1,187.0百万円) 用地費及び補償費

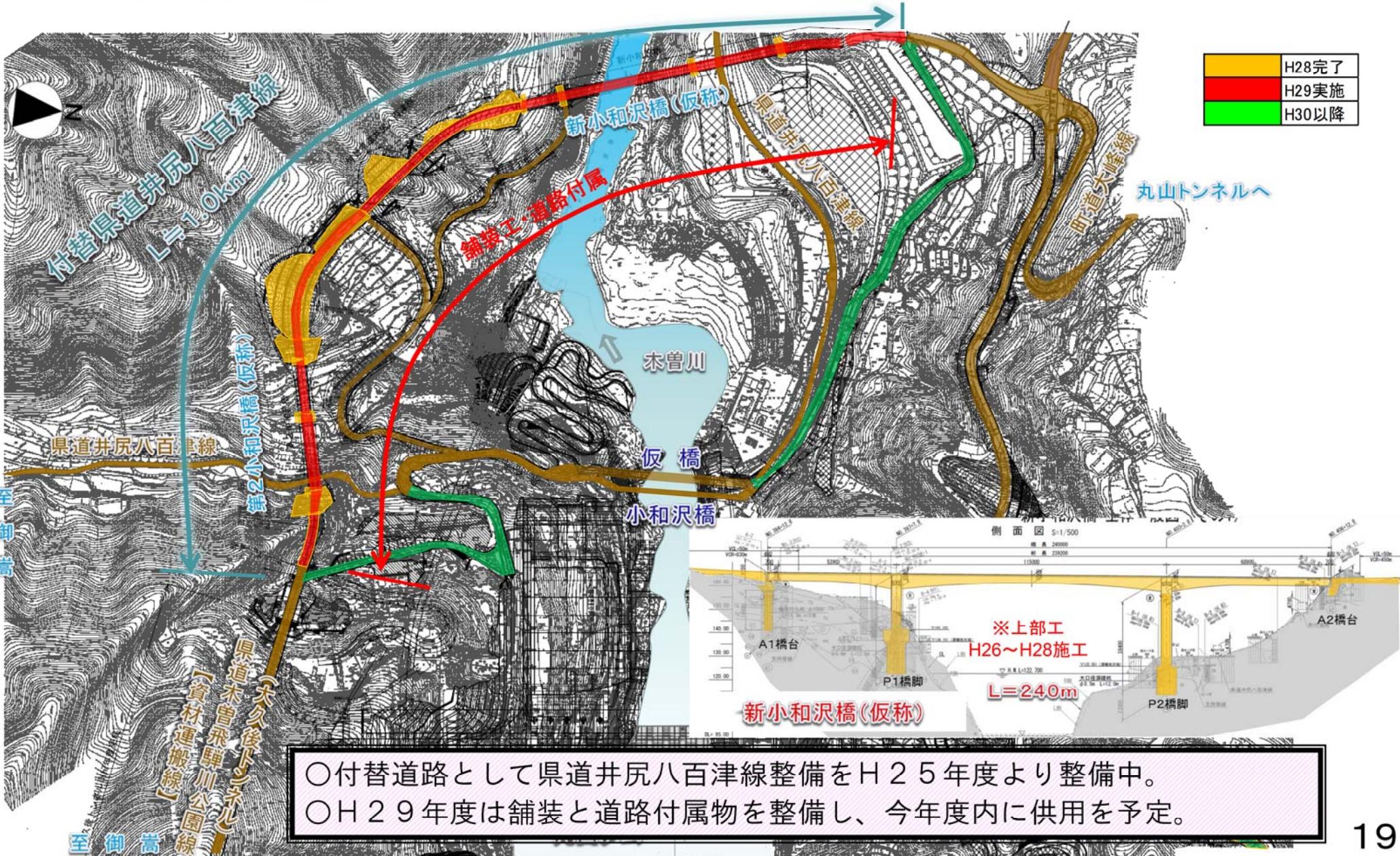
- 新丸山ダム建設に伴うダム水位上昇の影響を受ける丸山発電所、新丸山発電所、笠置発電所については、機能回復補償を行う必要がある。
- 丸山発電所の取水口等の水没や水圧増加に対応するため、取水口等の嵩上げ及び導水路補強の機能回復補償をH28年度からH32年度の5年間で実施。



### 3) 個別説明

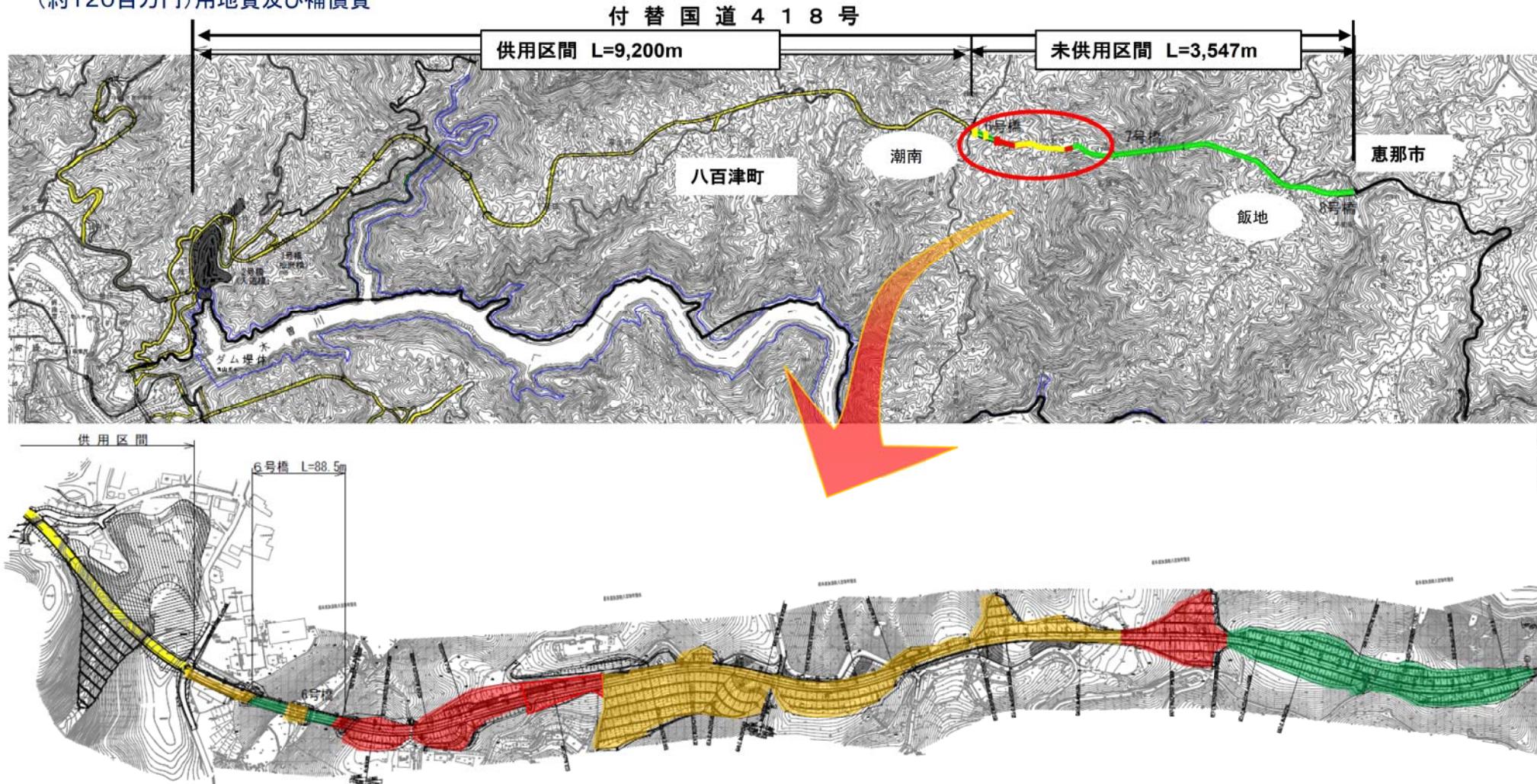
#### (5) 付替県道井尻八百津線工事

(約50百万円)用地費及び補償費



### 3) 個別説明

#### (6) 付替国道418号工事 (約120百万円)用地費及び補償費



■	H28完了
■	H29実施
■	H30以降

- 新丸山ダム建設に伴い水没する現国道418号の機能補償として、付替国道418号の潮南以東の未供用区間を継続して整備中。
- H29年度は潮南地区の土工部を整備。

## 4. 新丸山ダムにおける取り組み

- 地元商店により「ダムカレー」、「八百津せんべい」を販売
- 新丸山ダムの「ダムカード」配布を開始
- 地域振興に役立つダム事業を目指し地元自治体などと「協議会」を立ち上げ(現在準備中)

■平成28年12月よりダムカレー販売開始  
(八百津町内4店舗にて提供中)



最大一日 60杯と大盛況！



■新丸山ダムの図柄入り八百津せんべい販売開始



図柄は職員がデザイン！

■平成29年4月より「新丸山ダム」版のカード配布



新丸山ダム



丸山ダム

既存カードも人気！